

垂井町立小中学校及び幼稚園耐震化状況一覧表

平成26年3月末現在

学校名	棟名	構造	建築年	西暦	階数	延べ床面積	改修年度	診断の有無	Is値	備考
垂井小学校	校舎北	R	S46	1971	3	1,590	H21	○	0.82	補強済
	校舎南1	R	S47	1972	3	1,965	H21	○	0.81	補強済
	校舎南2	R	S47	1972	3	1,307	H21	○	0.805	補強済
	体育館	S	H7	1995	2	1,195	-	-	-	新耐震
宮代小学校	校舎東	R	S49	1974	3	978	H11	○	0.84	補強済
	校舎中	R	S54	1979	3	1,134	H11	○	0.84	補強済
	校舎西	R	S54	1979	3	435	H12	○	0.84	補強済
	特別教室	R	S54	1979	3	949	H12	○	0.84	補強済
	体育館	S	S54	1979	2	1,132	H20	○	0.77	補強済
表佐小学校	校舎東	R	S50	1975	3	753	H17	○	0.83	補強済
	校舎中	R	S57	1982	3	2,112	H17	-	-	新耐震
	校舎西	R	S59	1984	3	490	H17	-	-	新耐震
	体育館	S	S63	1988	2	968	-	-	-	新耐震
合原小学校	校舎	R	S59	1984	2	1,952	-	-	-	新耐震
	体育館	S	S59	1984	1	688	-	-	-	新耐震
府中小学校	校舎中・西	R	S41	1966	3	2,090	H22	○	0.82	補強済
	校舎東	R	S55	1980	3	2,026	H23	○	0.83	補強済
	体育館	S	H4	1992	2	1,166	-	-	-	新耐震
岩手小学校	校舎西	R	S53	1978	3	1,566	H14	○	0.88	補強済
	校舎東	R	S54	1979	3	1,788	H15	○	0.90	補強済
	体育館	S	S62	1987	2	1,132	-	-	-	新耐震
東小学校	校舎中	R	S58	1983	3	2,203	-	-	-	新耐震
	校舎西	R	H2	1990	3	254	-	-	-	新耐震
	校舎東	R	S58	1983	3	1,149	-	-	-	新耐震
	体育館	S	S58	1983	2	1,168	-	-	-	新耐震
不破中学校	校舎北西	R	H7	1995	3	2,605	-	-	-	新耐震
	校舎北東	R	H8	1996	3	2,036	-	-	-	新耐震
	校舎南東	R	S53	1978	3	1,790	H24	○	0.80	補強済
	校舎南西	R	S59	1984	2	1,149	H24	-	-	新耐震
	格技場	S	S52	1977	1	462	H24	○	1.09	補強済
	体育館	S	S45	1970	2	1,381	H24	○	0.89	補強済
北中学校	校舎東	R	S50	1975	4	490	H8	○	0.90	補強済
	校舎中東	R	S51	1976	4	1,563	H8	○	0.90	補強済
	校舎中西	R	S51	1976	4	975	H9	○	0.90	補強済
	校舎西	R	S63	1988	4	428	H9	○	-	新耐震
	技術科棟	S	S51	1976	1	342	H25	○	0.94	補強済
	体育館	S	S51	1976	2	1,341	H19	○	0.86	補強済
垂井幼稚園	園舎	S	H6	1994	1	675	-	-	-	新耐震
宮代幼稚園	園舎	R	S49	1974	1	439	H11	○	0.84	補強済
表佐幼稚園	園舎	R	S50	1975	1	371	H17	○	0.83	補強済
合原幼稚園	園舎	S	H4	1992	1	253	-	-	-	新耐震
府中幼稚園	園舎	S	S55	1980	1	606	H25	○	0.83	補強済
岩手幼稚園	園舎	S	S53	1978	1	528	H15	○	0.86	補強済

○Is値(構造耐震指標)とは、建物の構造的な耐震性能を表す指標で、Is値の数値が大きいほど耐震性が高いこととなります。

○Is値の目安(基準)

0.3未満	震度6強以上の地震に対して倒壊又は崩壊する危険性が高い。
0.3以上～0.6未満	震度6強以上の地震に対して倒壊又は崩壊する危険性がある。
0.6以上	震度6強以上の地震に対して倒壊又は崩壊する危険性が低い。

※Is値が0.6未満の建物については、法令により耐震改修を行う努力義務があります。

※学校施設については児童生徒の安全性を考慮し、Is値が0.6以上～0.7未満の建物についても耐震化の対象としています。